

【本部及び全事業に関する報告】

(1) キャリアパスを取り入れた、人材育成と職員処遇との一体的な改革に取り組みます。

人材育成の面では、研修委員会で企画する職員研修会を、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程テキストの内容を取り入れて実施しました。職員研修会のあり方も、従来のように毎月開催では準備が不足し表層的な内容となることもありましたので、隔月開催とし、より充実した内容を目指しました。その結果、テキストの内容については単年度ですべてを網羅することができませんでしたので、平成30年度も引き続き同様のスタイルで行ってまいります。

また、職員処遇の面では、職員理事を構成員とした給与検討プロジェクトを立ち上げ、諸手当やキャリアパス要件について検討しました。しかし、年度末に取りまとめを急ぐあまりに十分な合意形成ができず、給与規程等の変更が平成30年度にずれ込んでしまいました。

(2) 基本財産強化のために土地を取得します。

国税局との折衝等で予定より遅くなりましたが、平成29年12月中に2・3号館敷地及び泉ヶ丘ホームの土地・建物を譲り受けることができました。ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

1. 本部事業

(1) 評議員会開催 2回（6月16日、3月26日）

理事会開催 4回（5月31日、6月16日、12月15日、3月16日）

(2) 監査の実施状況

監事による業務監査 11回（4月13日、5月19日、7月20日、8月10日、9月7日、10月6日、11月10日、12月15日、1月10日、2月8日、3月8日）

(3) 広報誌発行 3回（6月、11月、2月）

(4) 苦情解決の取り組み

直接苦情として持ち込まれたものは0件でしたが、受付担当が聴き取りを行い、また相談を受けたものとして3件を拾い上げました。

- ・受付担当者等の受付件数 3件
- ・解決件数 3件

意見内容	受付件数	解決件数	未解決件数	備考
職員（利用者も含む）の言動態度	1	1		
施設の方針				
施設整備の改善				
その他	2	2		
合計	3	3		

2. 主な整備・資産処分

今年度固定資産として整備したものは以下のとおりです。

【整備】

平成29年4月30日	PC 2台	240,840	
平成29年5月31日	黒石原荘防犯カメラ一式	693,360	内補助金520,000円
平成29年7月20日	アルソック警備機追加	293,760	
平成29年10月16日	車輜（フリード）1台	1,966,620	生活訓練送迎用
平成29年10月31日	PC 1台	126,144	
平成29年11月30日	丁合機1台	4,471,200	
平成29年11月30日	エアージョガー1台	399,600	
平成29年12月13日	車輜（エブリィ）1台	1,207,643	コーヒー事業用
平成29年12月26日	土地500.50㎡（豊岡2000-1654）	8,100,000	2・3号館敷地
平成29年12月27日	土地165.05㎡・建物（泉ヶ丘ホーム）	5,743,000	一括購入
平成30年1月31日	3号館2階LED一式	173,880	

【資産処分】

平成29年度の資産処分は下表のとおりでした。

車輜（ワゴンR）	0
車輜（マーチ）	0

3. 職員の採用・退職

- ・退職 3名（A型常勤職員 1名、パート職員 2名）
- ・採用 5名（B型常勤職員 1名、移行型常勤職員 1名、パート職員 3名）

4. 職員数（平成29年3月1日在籍数）

職 種	人数	備 考
施 設 長	1	
副施設長	1	
事 務 長	1	
サービス管理責任者	1	
生活支援員・サービス管理責任者（兼任）	2	
生活支援員・職業指導員	17	サンシャインワークス（A型）6人 すてっぷほうす（B型）6人 サンライズ（移行型）3人 風見鶏（生活訓練）2人
事 務 員	2	
調 理 員	3	
グループホーム世話人	4	全員業務委託
合 計	32	

※他に産業医 1名、臨床心理士 1名、管理栄養士 1名（全て委託）

5. 寄付・寄贈いただいた団体・個人様

ご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

お名前	寄付用途等
廣野 立一 様	新 米
アグリカルチャサービス 様	野菜やくだもの
渡辺美智子 様	商品券
齋藤 龍象 様	法人運営のため
岡崎 誠子 様	法人運営のため
後藤 一俊 様	利用者さんのため
横山 孝之 様	法人運営のため

【平成29年度事業活動報告】

事業全体の取り組みの結果

1. 年間平均利用者数

事業別（定員）	年間平均実利用者数	
	単位：人（ ）内はH28年度	
サンシャインワークス（A型）（30）	24.0	（26.2）
すてっぷはうす（B型）（20）	20.9	（16.9）
サンライズ（移行型）（10）	5.4	（8.2）
風見鶏（生活訓練）（10）	3.2	（2.6）
合 計（70）	53.5	（53.9）

事業別（定員）	年間平均実利用者数	
	単位：人（ ）内はH28年度	
黒石原荘（10）	7.6	（7.8）
泉ヶ丘ホーム（5）	4.1	（3.9）
すずかけ台ホーム（5）	3.0	（4.2）
合 計（20）	14.7	（15.9）

2. 就労事業収入

事業別	売上高（千円）	前年比	予算比
サンシャインワークス（A型）	71,662	103.2%	99.1%
すてっぷはうす（B型）	8,072	126.1%	134.5%
合 計	79,733	105.1%	101.8%

（1） A型では、グリーンコープ様丁合作業は前年比102%と安定して伸び、加えて菊池恵楓園様からの作業受託により、施設外作業が大幅に伸びました。

一方、コーヒー事業はアドシン様からの受注がなくなったことに加え、前年度にスポットで個人からの大量受注があったことなどから、前年比93.7%と落としています。その他、丁合作業と施設外作業が忙しく、単発的な作業に取り組む余裕を持てなかったことなどから、総合すると前年度よりは伸びましたが予算をわずかに下回りました。

- (2) B型では、三菱電機ロジスティクス様及び釜屋様からの受託作業が伸び、前年度に続いて大幅な増収となりました。一方で、工賃の総額も伸びており、就労事業の収支は最終的には利益を確保しましたが厳しいものとなりました。

3. 支払賃金・工賃

- (1) A型における平均賃金は107,225円で、前年度を上回ることができました。
(平成28年度実績102,317円)。最低賃金が715円から737円へと22円引き上げられたこと、また年度末特別賞与として平均35,000円を夏期賞与に上乗せして支給したことが主な要因と考えています。
- (2) B型における利用者の工賃は、前年度同様1日あたり1,000円でしたが、皆勤賞・精勤賞の整備や特別工賃（賞与）の増額により、月額平均での工賃は20,825円（前年度18,672円）と向上しました。
- (3) 移行型における利用者の工賃は、前年度同様1日あたり600円でした。

4. 余暇活動・健康管理および安全・衛生管理

①主な行事

平成29年度のサンシャインフェスタは、台風接近のため中止となりました。

- | | |
|--------------------|----------|
| ・日帰り旅行（福岡） | 10月20日 |
| ・忘年会 | 12月23日 |
| ・旅行（1泊2日 玉名・荒尾・柳川） | 1月12・13日 |

②安全・衛生、健康管理面

- | | |
|----------------------------------|-----|
| ・産業医による面談 | 毎月 |
| ・熊本赤十字病院及び
熊本県総合保健センターによる健康診断 | 年1回 |
| ・臨床心理士による面談 | 毎月 |
| ・労働安全衛生法にもとづくストレスチェック | 年1回 |

5. 見学・実習の受入れ

主に支援学校から 273名の見学と63名の実習生を受け入れました。

・ 見学者内訳

種 別	人数
支援学校	194
他事業所	45
関係団体（育成会等）	28
個 人	6
合 計	273

・ 事業所別実習生内訳

事 業 所	人数
サンシャインワークス（A型）	22
すてっぷはうす（B型）	18
サンライズ（移行型）	18
風見鶏（生活訓練）	5
合 計	63

また就労移行支援事業では、一般事業所実習に力を入れ、実習を通して就職に結びつくことが出来るよう支援しました。実習先については14ページをご参照ください。

6. 職員の資質向上（施設内研修）

（1）施設内全職員研修会（隔月開催）

（2）施設外研修会参加及び研修報告会

- ・ 県および県社協主催研修会 17件 24人（のべ）
- ・ 県内関係団体主催研修会 7件 12人（のべ）

（3）委員会活動

- ・ 広報委員会（月1回開催）
- ・ 行事委員会（不定期開催）
- ・ 研修委員会（月1回開催）
- ・ プロジェクト委員会（不定期開催）

（4）定例施設内会議

- ・ 部門代表者会議（年15回開催）
- ・ 職員会議（月1回開催）
- ・ 各部門定例会議（各月1回開催）
- ・ グループホーム会議（月1回開催）

7. 主な設備整備（2ページをご参照ください。）

事業別報告

1. サンシャインワークス（就労継続支援A型）

（1）生産事業 売上71,662千円（前年比103%、前年度決算69,465千円）

本年度の丁合関係は熊本・福岡様の丁合依頼数増により昨年度の売上げを上回ることができました。他の一次丁合分は微減でした。施設外作業では、菊池恵楓園様からの受注が増え、大幅な売上増につながりました。

珈琲事業は、スポット的な受注で売上が上がった28年度に比べ落としていますが、アドシン様のコーヒー販売撤退等の要因もあるなかでは検討しています。その他では、丁合作業と施設外作業が繁忙だったことにより短発的な作業に取り組むことができませんでした。

（単位：千円）

受注先	本年度売上額	昨年度売上額
1. 丁合作業	62,457	61,227
2. 施設外作業	2,444	444
3. 珈琲事業	6,461	6,894
4. その他	300	900
合計	71,662	69,465

（2）利用者支援

①作業能力レベルアップ

- ・リーダー制の導入

作業場を固定することでのスキルアップを図ってきましたが、イレギュラーな事態への対応や作業のテンポなどが改善できず、大幅な残業となった時期がありました。

それを受け、年度後半は従来のやり方に戻しつつ、こまめに報告・連絡・相談が行えるようになることを重点に支援しました。

- ・支援計画書の見直し

毎月従業員と内容の振り返りを行う事で、目標の意識付けを行いました。

- ・給与（時給）

熊本県の最低賃金737円（※平成29年10月以前715円）に合わせて、給与の支払いを行いました。

昨年に引き続き、7名の方について最低賃金減額の特例を受けました。

- ・年間賞与（合計1.8ヶ月）

勤務評価に基づき、勤務能力に応じて支給を行いました。

- ・定員（30名）

平成29年度は4月に新入社員1名（支援学校より）を迎え、30名でスタートしました。平成29年度末に1名退職しました。

- ・賃金支給の状況

月額（平均）	内 容	【参考】 28年度
107,255円	時給715～737円（最低賃金特例除外者除く） 賞与年間1.8ヶ月（6月、12月）	102,317円

②社会的自立レベルアップ

- ・適切な社会生活が送れるように支援（コミュニケーション能力や協調性の指導、男女交際における個別支援等）を行いました。
- ・朝礼時には、一日の目標として「本日の一言」を設定し、作業・社会性・協調性など様々な面での意識の向上を図りました。
- ・リーダー制を通じて、責任感や働き方への意識向上を図りました。

③一般就労について

- ・H29年度中の一般就労者はいませんが、H30年4月に1名が一般就労、もう1名を法人のパート職員として採用しました。

(3) 実習生の受け入れ（全事業）

支援学校を中心に夏休み中も実習生を受け入れました。他のA型からの実習も受け入れ、実習生のうち3名が平成30年度より利用されることになりました。

・実習生の受け入れ状況

(学校名)	のべ人数	A型	B型	移行型	生活訓練	備考
ひのくに支援学校	6	5		1		卒業後H30年4月よりA型利用2名
菊池支援学校	19	3	7	8	1	
大津支援学校	5	2	1	2		
熊本支援学校	1	1				
黒石原支援学校	13	2	2	5	4	
松橋支援学校	1	1				
小国支援学校	1	1				
菊池支援学校中学部	1			1		
西合志中学校	4	2	2			
西合志南中学校	4		4			
合志中学校	1		1			
めいとく（相談）	2		1	1		
縁（相談）	1	1				
れんがの家（相談）	2	2				
レインボー（A型）	2	2				
合 計	63	22	18	18	5	

(4) 行 事（主なもの）

障がい者スポーツ大会（5月）、忘年会（12月）、社員旅行（1月：玉名・柳川）などを実施致しました。

(5) その他

平成30年3月にA型家族懇親会（作業体験、ママコトキッチン様にて昼食）を実施いたしました。

2. すてっぷはうす（就労継続支援B型）

（1）就労収入結果 売上7,334千円（28年度売上額6,386千円）

（単位：千円）（前年度比）

受注先	売上額
古閑産業 様	2,787（89.9%）
三菱ロジスティクス 様	2,302（173.1%）
共同 様	189（76.1%）
釜屋 様	676（247.7%）
その他（数社合計）	1,379（94.9%）
合 計	7,334（114.6%）

※前年度に比べ、古閑産業様の売上が約30万円減少しましたが、引き続き主となる得意先でした。前年度からの三菱ロジスティクス様の売上増が就労収入に大きく貢献しています。また、釜屋様においてもゼリーの箱詰め作業が、半年以上も定期的に受注できた事で飛躍的に売上が伸びました。

その他の売上欄については学用品販売様からの卒業証書封緘作業が約7割を占めています。平成30年度は更なる就労収入増になる見込みです。

※29年度の事業計画に盛り込んでいた新規事業（施設内清掃）については、大きな効果は得られませんでした。

※個人差はありますが、作業のスキルアップが図れた利用者が多数いました。

（2）利用実績

29年度は定員20名に対して登録利用者25名でスタートし、人数の増減等なく終えました。28年度に比べ2名の新規利用者が入った事などもあり、年間のべ利用者は28年度よりも977人増となりました。安定した利用実績が得られています。

（3）工 賃

月額1,000円（時給200円）は前年度と同様でしたが、精勤賞・皆勤賞の導入や年度末特別工賃の支給により、28年度の月平均18,672円から29年度は20,825円と工賃アップに繋がりました。

(4) 利用状況

年々、新規の利用者を受け入れてきたことにより、契約数が25名となりましたが、個々の特性による生産活動での生産性の差や、生活面・対人関係でのトラブルが多くなっています。また人数が増えた事により、作業空間の圧迫感や騒音が苦手な方に負担がかかっているケースも見られました。安定して来所し、活動出来ている方とそうでない方というのが明確に見える状況でした。

29年度の事業方針に明記していた一般就労やA型への移行も形にする事が出来ませんでした。また、施設内清掃を利用し活動の班分けを行いました。特定の利用者が対象になる事が多く、上手く取り組めませんでした。

(4) より多くの方にご利用いただくための取り組み

- ①29年度は、利用者が増えた事により同時期に受け入れる実習生の人数制限を行いました。それでも多くの受け入れをすることが出来ました。
- ②支援学校や合志市が主催する販売会に参加することで地域の方と交流し、事業所の宣伝につながりました。
- ③相談支援事業所や支援学校の見学も随時受け入れる事が出来ました。

(5) 余暇活動

- ①花見、合同忘年会などに、多くの利用者が楽しく参加する事が出来ました。また、行事を通して多数のご家族の方とも接することが出来ました。
- ②祝日を利用して、図書館や買い物など普段できない活動を楽しむ事が出来ました。
- ③一日旅行は福岡のマリンワールドへ行き、皆で楽しむ事が出来ました。
- ④カラオケ、お菓子作り、芋ほりなど施設内外で楽しむ活動が出来ました。
- ⑤スマイル劇団に所属している方は、施設内・外での発表を楽しむ事が出来ました。

(6) その他特記事項

- ①6ヶ月毎に個別支援計画書の評価、見直しを行い、常に各利用者のニーズに沿った支援を行うよう努めました。
- ②産業医、臨床心理士と連携をとり多角的な支援に努めました。また、利用者自身が臨床心理士と面談を行い、ストレスケアに繋がるよう促しました。2名の利用者が実施しました。

3. サンライズ（就労移行支援）

（1）進路状況

29年度は、新規利用開始者10名、利用終了者7名（アセスメント利用含む）でした。昨年同様、新規利用者が例年に比べ少なく、利用のべ人数も昨年度の半分ほど（約5名／日）になり、その結果、終了者も少ない状態でした。

より多くの方に利用していただくことは、訓練系事業所にとって、大きな課題の一つです。様々な関係機関との連携や見学者への対応など行ってきましたが、雇用情勢の向上などからも利用者数増には至りませんでした。

一方、「就労定着支援事業」の創設などからも、一般企業への就労率の向上も運営には必須条件となります。これらのためにも利用前後の機関との連携を更に充実させるよう努力いたします。

利用終了された方の進路先は下表の通りです。

・利用者の進路状況（4名）

終了者	就職月	進路先
Aさん（男性）	平成29年7月	株式会社 サンワアルティス
Bさん（男性）	平成29年10月	B型事業所 白鳩園
Cさん（男性）	平成29年12月	株式会社 サンワアルティス

上記のほかに様々な企業で実習や見学など行いましたが、本人やご家族の希望を最優先する中で、同じ企業で就労する方たちや採用試験合格後に辞退する方などもありました。定着状況は良好です。

・アセスメント利用者（4名）

終了者	終了月	受け入れ先
Dさん（女性）	平成29年7月	大津支援学校（アセスメント利用）
Eさん（男性）	平成29年8月	菊池支援学校（アセスメント利用）
Fさん（女性）	平成29年8月	菊池支援学校（アセスメント利用）
Gさん（男性）	平成30年2月	菊池支援学校（アセスメント利用）

（2）就職活動実績

上記以外にも採用には至りませんでした。受験した企業、実習や見学を受け入れてくださる企業を開拓しました。また、企業以外にも公的機関やA

型事業所の実習・見学も積極的に行ないました。利用者に合わせて、就職活動を行うため受験企業など少なくなりました。

・利用者の採用受験・実習・見学状況

採用受験・実習・見学事業所名	のべ人数	採用受験・実習・見学事業所名	のべ人数
株式会社 サンワアルティス	2名	A型 風の森	7名
株式会社 泗水社	1名	A型 夢のかけら舎	1名
株式会社 ライフアシスト	1名	A型 くまもとプラス	2名
ハローワーク主催 合同面接会	4名	A型 レインボー	5名
株式会社 H・I システック	1名	B型 サニーサイド	2名
不二精密工業 株式会社	1名	B型 白鳩園	4名
菊南温泉 ユウベルホテル	1名	B型 テクニカル工房	5名
合志市社会福祉協議会	1名	A型 サンシャインワークス	10名
古閑産業 合資会社	毎日	B型 すてっぷはうす	10名
	1名	生活訓練 風見鶏	10名
生活協同組合くまもと合志店	毎週		
	2名		

(3) 実習生の受け入れ

6 ページ右表を参照してください。

(4) その他（施設内・外 日常活動）

活動項目	内 容	頻 度
求職活動	ハローワーク訪問・登録、現状報告の面接、求人票の検索、障害者求人票の取得、求人情報誌閲覧	月に1～2回
就労・生活支援センター相談	登録、現状報告の面談	随 時
障害者職業センター相談	登録、職業評価、相談	随 時
相談業務	支援計画書説明、相談支援事業所とのモニタリング会議、個人面談、保護者面談、電話相談、	随 時
病院との連携	受診同行、病院見学同行、活動報告書の作成、電話相談	随 時

活動項目	内 容	頻 度
履歴書書き	個人の手本を用意し、一枚を書きあげていく	随 時（就職試験、実習前は特に集中する）
面接練習	実際に面接を行い、服装、態度、返事の内容など個別に指導する	随 時（就職試験、実習前は特に集中する）
座 学	ディスカッション、パソコン、請求書作成、社会人の心構えマナー、お金の使い方、発声、感想文など	随 時
自立訓練	バスや電車の同乗練習、調理、買物、掃除の練習	随 時
自主学习	各自希望の学習を行う	毎 日
体力づくり	毎朝のラジオ体操、ウォーキング卓球	毎 日
外出訓練	一日旅行、サーカス・美術館鑑賞・公園、レストランランチ	随 時
余暇活動	フェスタ（準備）、図書館利用、カラオケ、農作業、手芸、終了式、ゲーム、DVD鑑賞、など	随 時
合同活動（座学）	ライン工房との交流を図る	年数回
健康	健康診断を受診、病院同行受診	年1回、随時
同窓会	終了生との連携の強化を目的 多目的室 53名参加	2/12
地域活動	恵楓園学習、スマイル劇団の参加	随 時
作業訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 万彩路 ・ホープ印刷株式会社（納品） ・株式会社 松美堂 ・株式会社 キョウビシ（納品） ・熊本県学用品販売株式会社 ・グッドハート株式会社 <p style="text-align: right;">他</p>	様々な企業様より、サンライズとしてお仕事をいただき、訓練として役立てています。納品、在庫数の確認なども行っています。

活動項目	内 容	頻 度
就労先巡回	利用終了後の進路先への巡回を行い、定着を図る	随 時
終了生対応	終了生来所対応、電話相談	随 時

多機能型事業所の特性を活かし、A型、B型の作業の手伝いや、生活訓練との合同活動など訓練の幅を広げています。

4. 風見鶏（生活訓練）

（1）多様な障がいに対する支援への取り組み

- ・支援の専門性を高め、様々な方のニーズに対応できるよう支援を行いました。日常生活や社会生活の能力向上を目的とした的確なプログラムを提供し、一人ひとりに適した支援に取り組みました。
- ・支援員は研修や日々の振り返りを通して資質向上に努めました。

（2）様々な方が利用できる体制づくりへの取り組み

- ・定期的に相談支援事業所などを訪問し、利用に繋がるような働きかけを行いました。しかし利用実績は前年度をやや上回ったものの、実際の利用状況は3.2名/日でした。平成29年度の利用者は精神、発達障がいの方が中心となっており、在宅や退院後に利用される方がほとんどです。また支援学校卒業後に利用された方も2名おられ、人数は少ないものの多様な障がいの方が利用されているのが現状となっています。活動内容を個別化するなどの工夫を通して、この現状に対応できる体制づくりに取り組みました。

【平成29年度利用者の障がい区分】

- ・知的障がいの方…………… 1名
- ・精神、発達障がいの方…………… 6名

（3）支援内容充実のための取り組み

- ・生活体験的な活動（掃除・買物・調理）などに取り組み日常生活力の向上に努めました。またマナー訓練や移動外出訓練を通して社会生活力の向上にも取り組みました。
- ・身体を動かす活動としてウォーキングやヨガ、ストレッチに日々取り組みました。
- ・作業訓練などは個別メニューを計画し、利用者一人ひとりに合わせた支援を心がけました。
- ・綿密なコミュニケーションを図りながら落ち着いた環境で安心した活動ができるよう配慮しました。

（4）その他特記事項

- ・3か月毎に個別支援計画を作成し、本人・ご家族との面談を通してより良い支援を行うよう心がけました。

- ・ 訓練を通して一人ひとりに合ったその後の就労の形（A型・B型・移行型）を十分に検討し、先々を見据えた将来に繋がる支援を心がけました。その結果、3名の方が無事に利用を終了されましたが、1名の方が在宅に戻られる形となり、支援が上手く機能しなかったケースもありました。

Aさん～就労移行支援事業所へ

Bさん～生活介護事業所へ

Cさん～介護保険適用事業へ

Dさん～在宅へ

- ・ 地域との関わりを深める活動（ボランティア活動やイベント活動）を計画していましたが、地域との連携を強化するような活動は計画通りに行えませんでした。

5. グループホーム事業

1. 事業方針（平成29年度のおもな取り組み）

（1）入居者の生活の安定

- ・入居者の状態に変化があれば、相談事業所や病院、ご家族に報告を行いました。また、担当者会議等に参加し、今後の支援の方向性を検討し、実践し入居者の生活の安定を図りました。
- ・入居者の人的配慮の面から、ホーム移動を行いました。また、入居者のパニックの際に他入居者のストレス軽減の為、リラックスルームの活用を促しました。
- ・日中活動に影響がでないように、早寝早起きの声掛けや、相談の時間を作り、その内容に応じて、日中活動の事業所に連絡を行いました。
- ・合同忘年会や家族の会などでご家族と話す機会を作り、入居者の今後について話しました。
- ・高齢化対策について、ソフト面では、入居者自身のライフプランの見直しが必要になり、それに依りて介護施設との連携が発生し、ハード面では、バリアフリー化オール電化が課題に上がりました。

（2）自立に向けた援助

- ・サービス等利用計画に応じた個別支援計画書を作成し、入居者自身が目標を忘れないように、月1回振り返りと評価を行い、声掛けや、手伝いを繰り返し行う事で、目標を達成する入居者もいました。
- ・金銭管理が苦手な入居者と一緒に出納帳に記入し、現在の収支状況を確認しました。また、必要に応じて、銀行に同行し、ATMの操作の仕方を支援しました。
- ・普通自動車免許取得や自動二輪免許取得を目標に頑張られ、普通二輪免許を取得されました。
- ・一人暮らしの意向がある入居者に対して、一人暮らしに必要な情報や、アパート式グループホームの情報を伝えました。

2. 支援内容充実の為の取り組み

- ・入居者と一緒に日帰りドライブ外出で天草に行き、買い物訓練を行いました。また、ホーム単位で外食も行いました。

- ・グループホーム巡回職員を以前の9名から5名を選び、5名の職員の巡回回数を増やし、入居者との関係構築の向上と緊急時対応への強化を行いました。
- ・サービス管理責任者の入居者との面談や相談の回数を増やし、ストレスの軽減と、多くホームに行くことで世話人の孤立防止を行いました。
- ・世話人ミーティングに研修会での内容や、世話人業務の基礎知識など盛り込み話合いました。また、ミーティングにリラックスして参加できるようにコーヒーや茶菓子など持ち込み、雰囲気作りも行いました。
- ・ATM訓練、外出活動、ハローワーク、外食、病院受診、市役所への手続き、金銭管理など入居者と一緒に行い、経験してもらえる機会を提供しました。

6. その他（給食・送迎）

（1）給食

調理員の方2名のうち、1名の退職と1名の産休入りがほぼ同時期となり、また求人難により調理員の確保ができず、2月12日より給食を一時中止せざるを得ませんでした。その間は弁当での対応となり、再開は年度をまたいで4月9日となりました。利用者及びご家族にご迷惑をおかけしました。

以下の事項につきましては例年どおり取り組みました。

- ①食材や食品衛生に細心の注意を払いました。
 - ・カルシウム摂取の増加（乳製品、海草類、緑黄野菜の摂取）
 - ・残飯、残菜の減少
 - ・個人に応じメニューの変更　たとえば乳製品が苦手な人の別メニューやご飯の量を加減するなど
- ②調味料のかけ過ぎに注意するなどの食事指導をして、生活習慣病の予防を指導しました。
- ③利用者さんの間でのトラブルを避けるため、配膳の際に席次等の配慮を心がけました。

（2）送迎

送迎は次のコースで実施しました。

- B 型…集合場所まで送迎しました。（武蔵ヶ丘コース・御代志コース）
- 移行型…平成29年度は全員自力通勤でした。

生活訓練…自力通所が難しい方を自宅まで送迎しました。(西合志コース・菊陽コース)

※A型は基本的に自力通勤とし、祝祭日のみバスの時刻が始業時間に間に合わないため、武蔵塚駅まで送迎しました。

7. 「地域の学習教室」活動報告

月	開催日数	のべ参加生徒数	のべ支援員数
4月	4	11	12
5月	2	12	8
6月	4	16	12
7月	5	16	14
夏休み行事	1	4	11 (内保護者2)
8月	3	7	11
9月	3	8	11
10月	4	11	9
11月	4	7	11
12月	4	8	10
1月	3	7	10
2月	4	10	11
3月	4	13	13
春休み行事	1	5	7 (内保護者2)

今年は、全体的に出席数が少なくなっています。この傾向は、どこの教室でも起きているようです。特に、夏休み中は、生徒の出席が少なく、9月も回復していません。年度末まで同様でした。

また体験型(調理実習)BBQ大会を7月・12月・3月の年3回、学校が休みの期間中に計画しました。第1回目は夏休みが始まった直後の日曜日。2回目は参加者が1家族だったため中止。3回目は3月に実施しました。生徒、支援員、保護者との交流を図りました。(参加者数は表をご参照ください。)

2月11日、県内の地域の学習教室(ひとり親子ども支援学習教室)交流会に支援員3名出席。

3月17日、支援員総会を開催しました(出席者10名)。

助成金の収支報告

収 入		支 出	
県助成金（12ヶ月間）	126,000	通信用切手代	16,974
		支援員交通費（1回約700円）	79,026
		会場費	30,000
収入合計	126,000	支出合計	126,000

収入 126,000円 - 支出 126,000円 = 0

8. 福島支援ひまわりプロジェクト報告および野菜栽培報告

種 蒔 き：5月5日

収 穫：7月20日～8月17日

天 日 干：7月20日～8月24日

福島へ発送：8月24日（種8キロ）

感 想：予想より順調に育ちました。鳥害を恐れて育ちのよい花を早く収穫しましたが、成熟度が十分ではありませんでした。十分成熟させていたら収量が多かったと思えば、残念さが残りました。

9. スマイル劇団

団 員 数：A型＝1名、B型＝6名、移行型＝2名、生活訓練型＝1名、支援員＝4名

練 習：週1回、上演が近づいたら週2回。昼休みに30分間。

上 演：4月＝入社式オープニング（エイサー）

9月＝サンシャインフェスタ（エイサー）

10月＝黒石原秋祭り（エイサー）

12月＝ホープ印刷40周年記念祝賀会（エイサー、劇）

12月＝サンシャイン忘年会（エイサー、劇）

そ の 他：3月より練習時間を勤務時間とみなしています。